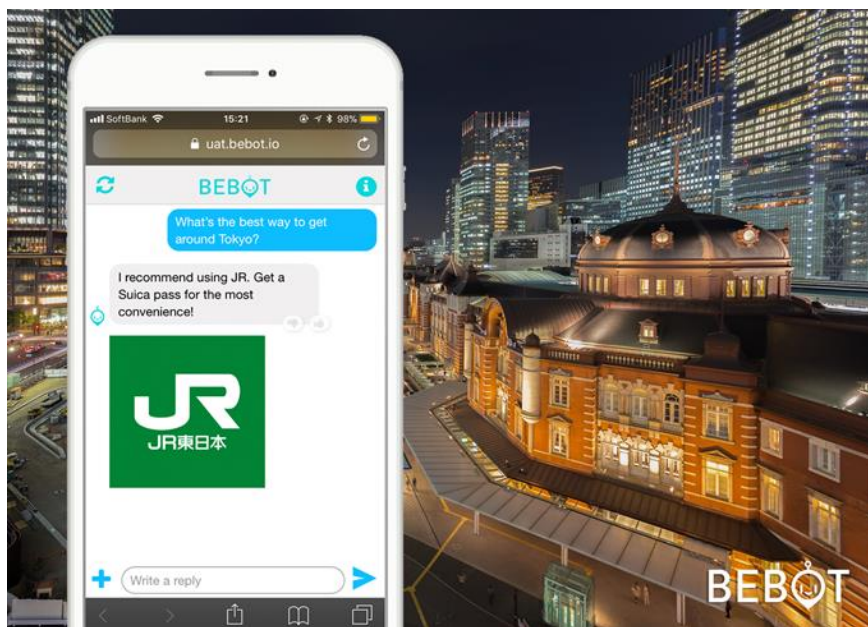


**鉄道駅として“世界初”となる AI チャットコンシェルジュ『Bebot』によるご案内を開始！
東京ステーションシティを訪れる訪日外国人のお客さまに快適な旅をご提供いたします。**

東京ステーションシティ(運営:東京ステーションシティ運営協議会)は、2018 年 3 月 21 日より、訪日外国人向けのコンシェルジュ業務を AI(人工知能)によって行うチャットボット『Bebot(ビーボット)』を鉄道駅としては世界で初めて東京駅エリアに導入します。

『Bebot』は、株式会社ビースポーク(本社:東京都渋谷区、代表:綱川 明美)が 2016 年に開発した、日本初の訪日外国人向けチャットボットです。AI(人工知能)を活用し、英語と中国語の 2 カ国語で 24 時間・365 日スマートフォンを通じてリアルタイムでご案内いたします。

一日約 183 万人のお客さまに御利用いただく東京駅において、『Bebot』によるサービスを提供することで、訪日外国人の更なる満足度向上や利便性向上を目指します。



【『Bebot』の利用方法】

- ①東京駅構内に掲出されたポスターやステッカーに表示してある QR コードを、スマートフォンでスキャンします。
- ②『Bebot』のページが立ち上がった後に、現在位置情報を共有することで、AI とのチャットが可能となります。
- ③東京ステーションシティの各施設やサービスに関する情報に加え、旅行中に役立つ情報を無料で『Bebot』に質問することができます。

《質問例》

新幹線の乗り方は？

成田空港までの行き方は？

※本資料に記載の情報は、2018 年 3 月 20 日(火)現在の情報であり、「予定」を含みます。

「東京ステーションシティ」と「東京ステーションシティ運営協議会」について

「東京ステーションシティ(TOKYO STATION CITY)」は、東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)が、東京駅とその周辺エリアを“一つの大きな街”と捉え、駅構内、丸の内口、八重洲口、日本橋口などの周辺エリアを「東京駅が街になる」というコンセプトのもと 2006 年に命名しました。

その後、同エリアの魅力を最大限に引き出し、エリア全体の価値を継続的に高めていくことを目的とし、2013 年 6 月、東日本旅客鉄道株式会社と東京ステーションシティに関係する JR 東日本グループ 24 社(公益財団法人を含む)※を会員とする「東京ステーションシティ運営協議会」が発足。東京ステーションシティに関する情報発信・イベントの企画実施・エリア内環境整備などの活動を通して同エリアの活性化に取り組んでいます。

※ジェイアールバス関東(株)、(株)鉄道会館、(株)ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR 東日本リテールネット、(株)日本レストランエンタプライズ、ジェイアール東日本フードビジネス(株)、(株)JR 東日本ステーションリテイリング、(株)JR 東日本ウォータービジネス、(株)紀ノ国屋、(株)ジェイアール東日本商事、(株)ジェイアール東日本物流、(株)びゅうトラベルサービス、JR 東日本レンタリース(株)、(株)ジェイアール東日本スポーツ、(株)ジェイアール東日本都市開発、(株)ビューカード、(株)JR 東日本テクノハート TESSEI、(株)東日本環境アクセス、(株)JR 東日本ステーションサービス、JR 東日本ビルテック(株)、JR 東日本メカトロニクス(株)、セントラル警備保障(株)、公益財団法人東日本鉄道文化財団 計 24 社